

報道機関各位

問い合わせ:社会教育課 文化財係
担当:藤本・猿渡
連絡先:0944-32-9183

大江の幸若舞 奉納上演

～受け継がれた 240 年の芸能 今に伝える～

本市瀬高町大江に伝承されている「幸若舞」は、1787年大江村内に伝えられ現在に至ります。

公式には「大頭流幸若舞」といい、現存する唯一の幸若舞として高く評価され、昭和51年に国指定重要無形民俗文化財に指定されています。
毎年1月20日に、幸若舞保存会により五穀豊穫を祈願して奉納上演されます。

■日 時 令和8年1月20日(火) 開会式11:30~、上演12:00~

■場 所 大江天満神社境内「舞堂」(みやま市瀬高町大江 1488)

■演 目

曲 目	上 演 者	上演予定時刻
日本記(にほんぎ)	小学5・6 年生(4名)	12:00~12:20
夜討曾我(上)(ようちそが)	成 人(3 名)	12:30~13:00
夜討曾我(下)(ようちそが)	成 人(3 名)	13:10~13:40
和泉ヶ城(いずみがじょう)	成 人(3 名)	13:50~14:20

【幸若舞とは】

幸若舞は室町時代に発祥し、戦国大名に庇護され、特に織田信長をはじめ豊臣秀吉・徳川家康など、時の権力者に好まれました。幕末になると、時代の流れや趣味の変化などにつれて次第に衰え、発祥地の福井県丹生郡朝日町(現越前町)でも明治維新後に絶えましたが、本市の瀬高町大江地区では、「大江のめえ」とよばれて国内で唯一、昔の姿をそのままに伝えています。



くらし調う、みやま有明。
KURASHI TOTONOU

大江の

国指定重要無形民俗文化財

KOU

WAKA

MAI



演目

- 一、日本記
- 二、夜討曾我（上）
- 三、夜討曾我（下）
- 四、和泉ヶ城（一）

幸若舞とは

みやま市瀬高町大江に伝わる幸若舞は公式には、「大頭流幸若舞」と言い、今日に伝存する唯一の幸若舞として、日本芸能史の上でも極めて高く評価されています。

現在では、毎年1月20日、五穀豊穰を祈って大江天満神社内の舞堂において奉納されます。

日時 令和8年

1月20日(火)

【開会式】午前11:30～ 【上演】正午～

会場 大江天満神社舞堂
(福岡県みやま市瀬高町大江 1488)



※周辺に駐車場があまりありませんので、ご来場の際はJR瀬高駅よりタクシー等でのご来場にご協力をお願い致します。